国語

学校番号	３２０

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	標準国語総合（第一学習社）						
副教材等	「ＬＴ現代文１」（浜島書店）　新版二訂四訂版「漢字検定５～２級対応常用漢字ダブルクリア」（尚文出版） 「新説国語図説」五訂版（京都書房）　「 ニューエイジ古文基礎１」（第一学習社） 「読解をたいせつにする体系古典文法」八訂版（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ

国語総合では、国語の基礎基本を定着させることを目標に、学習を行っていきます。漢字を読み書きする力、文章の読解力等をつけること、人の意見を聞くことで、自らのものの見方や感じ方、考え方を豊かにしていきましょう。

２ 学習の到達目標

1 現代文と古典の様々な教材を取り上げ、幅広く学習することで、日本文学の内容を的確に捉え、理解する力を高める。
2 現代文と古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。
3 優れた表現に親しみ、古代から続く日本と中国の文化の関係を考える。
4 現代文と古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、国語に親しむ態度を身に付ける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	現代文と古典を読む力を進んで育てるとともに、国語についての理解や関心を深めようとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり，話し合ったりして，自分の考えをまとめ，深めている。	相手や目的，意図に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えをまとめ，深めている。	現代文と古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び現代の言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート，プリント	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート，プリント	・レポート・感想文など作成した文章 ・ノート，プリント ・定期考査	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート，プリント ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート，プリント ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文入門	古文の学習	○	○			○	a 古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 b 古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 a 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、古典を尊重し継承していく態度を育てる。 e 国語辞典を用いて重要語句の意味用法を調べ、理解する。 e 歴史的仮名遣いについて理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	随想	「スイッチをOFFにすることから始める」 (林ナツミ) 「世界は謎に満ちている」 (手塚治虫)	○	○		◎		d 随想の読み方を習得する。 b 自らの「学び」について考える契機とし、これからの高校生活への抱負を発表し合う。 a 謎を発見し、探求しようとする好奇心の大切さについて、目を向けるきっかけとする。 a 重要語句とそれが使われる文脈を理解し、言葉の背景に興味をもつ。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	説話	**「児のそら寝」** **(宇治拾遺物語)**	○			◎	○	d 説話を読み、古文の読み方の基礎を確認する。 d 登場人物の行動に注目して読み、場面の展開を把握する。 e 文脈に沿って作品を読み味わい、古文を読む楽しさ、古典世界の広がりを理解する。 a 場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。 e 品詞分類を理解する。 e 動詞と活用形を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	小説Ⅰ	**羅生門** (芥川龍之介)	○	○	○	◎	○	a 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 d 小説の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 b 作者の人間観、社会観などを読み取り、それに対して自分の意見や考えを持つ。 d 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 e 古典とのつながりについて理解する。 b 芥川龍之介の他の作品について調べ発表する。 c 感想文を書き発表し合う。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
2学期	物語	**「なよ竹のかぐや姫」** **(竹取物語)**	○			◎	○	d 登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 e 古人の恋愛の過程や結婚制度についての理解と認識を深める。 a 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

	評論一	**「水の東西」** （山崎正和）	○	◎		○	○	a 評論の概要を理解する。 b 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 e 言葉が文脈の中で持つ意味と、重要語句がどのように使われているかを理解する。 d 「水」を媒体とした、日本と西洋の文化の違いを考察する。 b この文章の構成や展開の特徴について指摘し、その効果を話し合う。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	随筆	**徒然草** **「つれづれなるままに」「これも仁和寺の法師」** **（吉田兼好）**	○			◎	○	a 随筆に表れた作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 d 音読を通して文章のリズム感を味わい、表現上の技巧を確かめる。 e 助動詞と助詞の用法を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	小説二	卒業ホームラン **（重松　清）**	○			○	○	a 現代小説に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。 a 作品の主題に迫り自己の生き方に引きつけて考えている。 d 小説の時間の流れ、場所の移動などをつかみ、全体の構成を理解している。 e 登場人物の会話やレトリックがどのような効果をもたらしているか理解している。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
2学期	和歌　短歌・俳句	**万葉集** **古今和歌集** 新古今和歌集 「**古典の和歌を現代の言葉で書き換える**」（俵万智）	◎			○	○	a 和歌の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 d 音読を通して和歌のリズム感を味わい、歌の持つ力を確認する。 e 庶民から貴族、天皇まであらゆる人々の心情の吐露を味わう。 e 和歌の技巧や修辞を理解する。 e 万葉集と古今和歌集、新古今和歌集の歌風の違いを考察する a 自分の好きな歌を現代短歌に意訳する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	小説三	**「夢十夜」** **（夏目漱石）**	○	○		◎	○	d 作品の構成・展開を正しくとらえ、生き生きとした描写を味わい、人間や生と死についての考えを深める。 e 登場人物の心理や状況を理解し、人間社会、生と死についての考えを深める。 a 象徴性の高い小説に興味を持ち、その寓意を読み深める。 b 「夢十夜」の他の作品を読み、自分が気に入った作品について、そのあらすじや印象に残った点が分かるように話す。 e 日本の近代文学の歴史の概略を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

	評論二	**「まずは形から」（池谷裕二）**	○			◎	○	a 自然科学分野の題材に興味をもち、身体と心の関係について正確に読み取る。 d 実験とその結果の関係に気をつけながら論の展開を正確につかむ。 e 重要語句とそれが使われる文脈を理解し、言葉の背景に興味をもつ。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
3学期	漢文入門	**漢文に親しむ「漢文とは」**	○			○	○	d 漢文を学ぶ意義を理解する e 漢文訓読のきまりを理解する。 a 漢文に親しみ、漢文の表現に慣れる。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	小説四	**「イースター島になぜ森がないのか」（鷲谷いづみ）**	○	○		◎	○	a 作品に興味をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 a 人間や社会についての考えを深めようとしている。 b 生態系や自然破壊の問題点について調べ、発表できる。 d 作品の構成・展開を理解している。 d イースター島の文明が崩壊した理由をまとめている。 d 登場人物の心情を読み取っている。 e 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 e 作者と作品の時代背景についての理解を深めている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	故事成語	五十歩百歩（孟子） 矛盾（韓非子） 蛇足（戦国策）	○			○	◎	a 比較的短く、話が具体的で展開の分かりやすい故事・逸話を読み、漢文に親しむ。 e 本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 e 重要な句形について理解する。 d 本文に表れた古代中国人のものの見方、感じ方、考え方を読み味わう。 e 故事成語の由来と意味を知り、正しい使い方を身に付け、言語感覚を豊かにする。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。